



# 救急車を呼ぶのをためらったことはないですか

「救急車に病院まで運んでもらえなかったがどうしてなのか」という声を市民のみなさんから複数いただき、私もこの間搬送されなかった事例に幾度かぶつかりました。

救急要請で現場到着後に搬送せずに救急車が帰る「不搬送」は昨年1年間・市内で575件。中東遠医療センターは全ての救急患者の受入をしているという事ですが、その前段階での不搬送はこの5年間で8%から14%に増えていきます。

「救急要請が増えている中、重傷者対応ができなくなるので、適正利用を」というよびかけには、タクシー代わりに呼ぶような事例が取り上げられ、いましめられています。もちろんそんなことは絶対許されません。

しかし「入院の必要がないケース」はすべて軽症区分扱いです。足の骨が折れていても、転んで顔を打っていても、いったん気を失うような症状であってもその日のうちに家に帰れた場合は軽症です。救急搬送で軽症が57%もあるという時の軽症の概念が市民感覚とちよつと違うのかな、とも思いました。

転んで自分では歩けなくなっている人を見て、救急車は呼ばないで自分で医者に連れていこうと思えるかどうか。

救急車は、まわりが呼ぶ場合が多いと思うのですが、「ちよつとこれは危ないかも」と思つて大抵善意で要請します。「救急車が帰つたのを見て、これくらいで呼んではいけなかったのかと思つた。」という声も聞きました。

「呼んでもいいけど帰ることもあります。」という説明が新たにされました。しかし帰つた後、誰が責任を持つて医者につなぐのかがよくわからないのです。急いで医者に診てほしいと思つたのは心配で放つておけなかったからですが、自分が責任を持つとなるとそこまですきないという事もあるでしょう。

高齢化が進めば、体の自由がきかなくて介護の車でないとなら送が難しかったり、認知の低下があり「大丈夫」と本人が答えることもありまます。初めて会う救急隊が状況を総合判断するのは難しいし、現場にいない中東遠医療センターの救急医にはもつとむずかしいと思ひます。

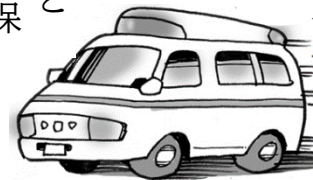
市民がどうすればいいのかが、もう少ししていいねいに説明されることで、いざというときの安心が担保されると思います。

先日掛川駅を降りたところ、急いで駅員さん呼びました。駅員さんが救急車を呼んだのですが、本人が断つたため救急車は帰りました。迎えはなかなか来なくて東京から来たという方の方を1人で置いていくのが私はとても心配でした。

この問題は今度の一般質問でもとりあげます。

**9月15日(火)9時から**  
※傍聴はコロナ対策で通常の半分の定員です。(マスク着用で)

この問題は今度の一般質問でもとりあげます。



## 「安部晋三」でなければOKですか？

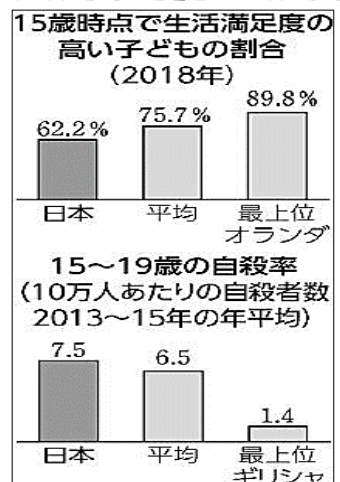
自民党総裁選挙に立候補しているのは安倍政治を支えてきた面々です。「改憲にも挑戦する」「アベノミクスを引き継ぐ」「大事なものは継承」という無派閥の菅義偉氏に派閥をこえて支持がなだれをうっている姿は異様です。

ここまで行き詰まっています。なお、財界や大企業、お金持ちのための政治を続けると言っているのです。

本当に安倍政治を終わらせるためには、次の総選挙で自公政権ノーの声を上げて政治を根本的に変えるしかありません。

## 日本の子ども

### 「精神的幸福度」最低水準



国連児童基金(ユニセフ)は、38カ国の子どもの幸福度についての調査で、日本は「身体的健康」ではトップだったものの、「精神的幸福度」は自殺率の高さなどから37位と最低レベルとする報告書を公表しました。学校でのいじめ、暴力をなくす取り組みとともに、少人数学級や教職員の抜本的増員などによる、子どもの精神的ケアの充実が求められています。